

## 「(仮)茅ヶ崎市環境基本計画 施策評価シート」イメージ

## ■施策の概要

計画体系上の位置づけ	政策目標	5 環境に配慮した行動を実践するまち
	基本方針	(10) 環境活動の推進
施策	名称	⑤環境に関する情報の発信
	内容	様々な媒体を活用した市内の環境保全活動に係る情報発信など、わかりやすい形で環境情報を入手できるように、利用者ニーズに応じた情報を提供します。

## ■施策指標

施策指標		計画策定時 (令和元年度)	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値	中間目標 (令和7年度)	期末目標 (令和12年度)
①	「環境情報の充実」に対する「不満」の割合(市民)	30%	—	—	00%	26%	22%
②	イベント・講座等に関する情報発信回数	326回	138回	187回	000回	343回	359回
③	環境フェア参加団体数/参加者数	61団体 /1,500人	実施なし	45団体 /2,000人	00団体 /0,000人	61団体 /1,650人	61団体 /1,800人
④	環境ポータルサイト「ちがさきエコネット」アクセス数/更新回数	44,231回 /16回	113,271回 /45回	97,229回 /40回	00,000回 /00回	55,000回 /20回	66,000回 /24回

## ○参考データ

項目		計画策定時 (令和元年度)	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値
イベント・講座等に関する情報発信回数内訳					
①	広報紙	97回	28回	27回	00回
②	市ホームページ (イベントカレンダー)	100回	44回	59回	00回
③	市ホームページ(日めくり等)	32回	21回	24回	00回
④	ツイッター	12回	7回	17回	00回
⑤	メール配信	20回	10回	16回	00回
⑥	ポスター・ちらし	62回	26回	38回	00回
⑦	記者発表	3回	2回	5回	00回
⑧	市LINEセグメント配信 (令和5年3月~)	—	—	1回	00回

## ■施策指標を用いた施策の進捗状況評価

<p>コロナ禍でのイベント等の減少により、情報発信回数も減少傾向にありましたが、近年では回復しつつあります。環境フェアはコロナ禍を経て、会場レイアウト等を見直したため参加団体数は減少していますが、他イベントとの連携による相乗効果により参加者数は増加しています。「ちがさきエコネット」はアクセス数、更新回数ともに期末目標値に達していますが、アクセス数は減少傾向にあります。令和4年度から開始したLINEセグメント配信が、新たな情報発信手段として定着しつつあります。「環境情報の充実」に対する「不満」の割合は、前回調査から減少が見られていることから、一定の成果があったと考えます。</p>
--

## ■施策を構成する主な取り組みの実施状況

主な取り組み		令和3～5年度の取り組み状況 ●：3年間共通の取り組み 【R3】：令和3年度に限った取り組み 【R4】：令和4年度に限った取り組み 【R5】：令和5年度に限った取り組み	担当課
①	利用者ニーズに即した情報発信	●SNSや広報紙、掲示板などを活用した情報発信	関係各課 広報シティプロモーション課
②	環境フェアの開催	【R3】環境パネル展の実施 【R3】クールチョイス展の開催 【R4・5】環境フェアの開催	環境政策課ほか
③	新たな情報発信手段の活用	【R3】既存の広報ツール活用の見直し 【R4・5】LINEセグメント配信機能による環境分野の情報配信	関係各課 広報シティプロモーション課
④	環境基本計画の周知	●環境基本計画年次報告書の作成 【R3】「環境基本計画概要版」の公共施設への配布 【R3】「環境基本計画こども版」の作成、小中学生への配布 【R3】環境基本計画改定のパネル展示の実施（環境月間パネル展、図書館で学ぶ「気候変動とSDGs」） 【R4・5】文教大学山田ゼミでの講義（オンライン）	環境政策課

## ■今後の方向性

区分	選択区分	今後の方向性（事業の見直し、事業内容の改善点など）
I 効果的な事業構成である （現状のまま継続する） II 概ね効果的な構成である （一部見直し等の余地がある） III あまり効果的な事業構成ではない （見直し等の余地が大きい） IV 事業構成に問題がある （抜本的な見直し等が必要である）	I	「環境情報の充実」に対する「不満」の割合は、前回調査から減少が見られていることから、現在取り組んでいる事業を継続して進めていきます。環境フェアの参加人数、「ちがさきエコネット」のアクセス数、更新回数はずでに期末目標を上回っており、新たな目標設定が必要です。